

JOY!

Vol.13



あなたは知っているか

完全な知識を持つ方が 垂れこめる雨雲によって
驚くべき御業を果たされることを。

(ヨブ記37:16)



絵：服部野百合

noyuri

雲に何を見出すのか

山下正雄
(ラジオ牧師)



少年時代、阿武隈川の土手に寝転んで、空を眺めるのが好きでした。春にはひばりが空を舞い、夏にはもくもくと膨れ上がる入道雲、秋になると急に空が高くなり、冬はどんよりと黒い雲が空を覆います。いつ眺めても空には様々な表情があります。空に感情があるわけではありませんが、それを眺めている人間には感情があり、時々自分の思いを空や雲に映し出します。

人の数ほど様々な表情を持った雲も、実は発生する高さと形で分けると10種類に分類されるそうです。一期一会と思える雲の形も、分類してみればたったの10種類しかないというのは不思議な気がします。科学的には

そうなのかもしれませんが、文学作品の表現は無限です。「紫だちたる雲」(清少納言『枕草子』)があるかと思えば、「絵巻のように黄金に輝いた雲」(三島由紀夫『花ざかりの森』)もあります。

聖書の世界にも様々な雲が出てきます。幕屋に降り立つ雲の柱は神の臨在を示し(出エジプト33:9)、「密雲の中にとどまる」と主は仰せられます(列王記上8:12)。神の臨在を現す雲がある一方で、しかし雲それ自体は神格化されることはありません。雲は神の支配のもとで雨を降らせたり、その中から稲妻を輝かせます(ヨブ記37:11-16)。それは決して幼稚な神話ではありません。自然が偶然や運命に支配されているかのようにおびえるだけの世界観でもなく、自然の驚異も人間の支配下にあるかのように思う高慢な世界観でもありません。雲の動きにも、それがもたらす結果にも神の存在を見出し、神に心を向け、神を畏れ敬う世界観です。





ちょっと教えて!



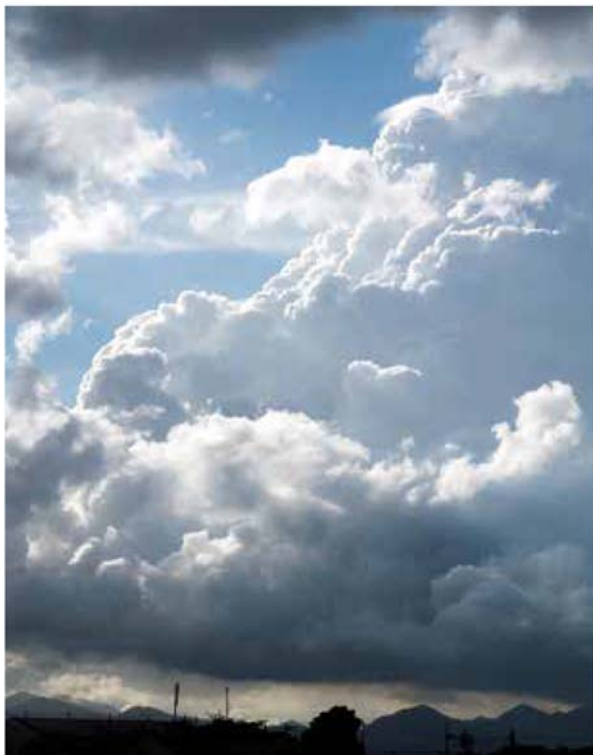
罪とは何ですか?

「罪」と聞くと、逮捕され裁判にかけられるような「違法行為」を思い浮かべる方もおられるでしょう。聖書が言う「罪」とは、私たちが神から遠く離れ、歩むべき道とは違う方向へ向かっている状態をいいます。神の存在がわからなくなってしまったことで、人と人との関係でも、悲しい出来事が起こるようになってしまいました。神のもとに返るとき、人はあるべき本来の姿に戻ることができます。人間の罪を背負ってくださったイエス・キリストを信じることによってのみ、私たちは神のそばに行けるのです。



クリスマスやイースターの意味は?

季節のイベントや商戦の一つとして、クリスマスやイースターが社会でもお馴染みになりました。けれども、本来はキリスト教会にとって大きな意味のある出来事です。イエス・キリストが、人間を罪の中から救い出すためにこの世に生まれてくださったことを祝うクリスマス、罪の報酬である死に打ち勝ってくださった復活を祝うイースター。私たちのために起こった出来事だと信じて祝うときに、「喜びの日」として特別な意味を持つのです。



× 新井 守道 (湘南恩寵教会)

CHRISTIAN
ARTIST NETWORK

IBUKI-Christian Artist Network

神から命の息吹をいただいたクリスチャンの芸術家ネットワーク (2014年6月発足)

改革派教会とは

プロテスタント教会は、16世紀にヨーロッパで起こった宗教改革運動から生まれました。改革派教会は、「聖書に忠実な教会に立ち返らせよう」としたこの運動の指導者の一人、カルヴァンの伝統を継承しています。改革とは原型に戻すこと、「聖書によって改革された、また改革され続ける」という意味です。日本キリスト改革派教会は、1946年に創立。正統的な教会の一つで、現在、全国に140の教会があり、会員数は1万人程です。

RCJメディア・ミニストリーについて

RCJメディア・ミニストリーは日本キリスト改革派教会大会メディア伝道局の活動の通称。1967年にラジオ番組「あさのことば」を開始し、現在はラジオやインターネットによる放送伝道を中心に、福音(良い知らせ)を届けています。通信講座や季刊紙「JOY!」などの文書やCD、また、集会を開いてリスナーとの直接的な相互の関係を深めた伝道にも励んでいます。HP「ふくいんのなみ」で番組を聴くことができます。



日本キリスト改革派教会

RCJメディア・ミニストリー 主事 山下正雄

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC613

TEL 03-3292-7604 ✉ info@jesus-web.org

